



歯科診療科紹介 / 保存修復科

東北大学病院歯科部門における保存修復科の取り組み

保存治療とは、う蝕、根および歯茎の炎症など、歯を失う原因となる病気を対象とし、可及的に歯を保存するための治療を提供します。そのため保存修復科では、う蝕、根の病気(歯髄炎、根尖性歯周炎)歯茎の病気(歯周炎)の治療を行っています。う蝕で壊された歯の治療は、接着修復と呼ばれる手法で抗菌性を有する材料で埋め合わせる治療を行います。根の病気に関しては、顕微鏡を用いたマイクロエンドと呼ばれる治療技術を導入し、通常の根の治療から歯根端切除術という歯の先に来る歯根嚢包と呼ばれる膿みの袋を摘出する手術まで行い、これまで解決しなかった歯の痛みの改善を図る治療を行います。歯茎の治療に関しては、口腔管理による歯周炎の予防治療から、重篤に進行

したケースでは歯周外科療法を行います。当科ではこれらの診療技術をもとに、全身疾患を伴う患者に対する保存治療にも取り組んでおります。循環器疾患、自己免疫疾患、内分泌疾患などの全身疾患になると、口腔内の細菌感染が原因で発症する歯髄炎、根尖性歯周炎、歯周炎により、全身症状も悪化することが報告されております。当科ではこれらのケースに対応するため、医科部門と連携して先端機器を用いて安全性の高い保存治療を提供する体制を整えております。また当科では、体の強度低下が原因で大動脈瘤、肺気胸といった様々な結合組織疾患を発症するマルファン症候群という難病の保存治療にも取り組んでおります。マルファン症候群では傷の治りが悪いので、特に安全性の高い保存治療技術が求められます。

Dental Department

当科ではこれらのケースに対応するため、先端歯科医療の積極的な導入と、これらに精通した歯科医師の育成に取り組んでいます。

このように当科では従来行われてきた保存治療の一層の充実と、全身疾患および難病に対応するため医科のみならず患者会との連携を深めるとともに、大学病院としての研究・教育にも取り組んでいく所存であります。今後ともよろしくごお願い申し上げます。



認定看護師紹介 / 新生児集中ケア認定看護師

戸澤 和恵 (とざわ かずえ)

2014年7月に新生児集中ケア認定看護師を取得し、本年度で活動2年目となります。私が認定看護師を目指すきっかけとなったのは、NICU看護を6年重ねる中で、限られたものと環境の中で限られた考えしかできていなかったことや業務中心のケアになっていたこと、そして何よりもその怠慢さに気づいていない自分がいると感じたからです。養育過程では、専門知識の勉強のほかに、まず自分自身を知ること、相談・指導の場においての他者との関わりを学ぶことなど広範囲に及びました。そして、出生直後の不安定な時期や目まぐるしい成長をとげる時期に親と離れ、NICUという特殊な環境で過ごさなければならない新生児により質の高い

ケアを提供するためにはどうすべきか追求し続けていく使命があると思っています。日本全体の出生数が明らかな減少傾向にあるにもかかわらず、低出生体重児の出生数は増加傾向にあります。当NICUでも、出生体重1000g以下の超低出生体重児の入院が年間20名~30名入院しています。今後ますます重要になっていく新生児看護の中で、新生児集中ケア認定看護師に期待されることとして、主に新生児の病態の急激な変化を予測し、重篤化を予防と生理学的安定を図ることと言われています。また、障害なき保育のために



神経行動学的な発達を促すための個別化されたケアを実施する必要があります。そして、心理的な危機状態に直面している家族がこどもとの関係性を築けるよう支援できるよう家族看護も最も重要なケアの一つです。これをベースに、実践のほかに病棟全体のスキルアップのための指導や相談、役割モデルとなれるように尽力しています。さらに、ここ数年ではとくに痛みの緩和ケアや安心できるスムーズな在宅移行ができる退院支援も大きな課題であり、ひとつひとつのケアと出会いを大切にしていきたいと考えています。

People

お知らせ Information

平成27年度地域医療連携協議会を開催いたします。

日時：2016年2月2日(火)19時~
場所：勝山館(仙台市青葉区上杉2丁目1番50号)

編集後記

11月7日(土)に、仙台国際センターにて第13回の市民公開講座を開催しました。今回は初の「体験型市民公開講座」で、参加された方全員に胸骨圧迫とAEDを体験していただき、会場は大いに賑わいました。次回、第14回は6月25日(土)に国際センターにて「安全に食べるために、摂食嚥下障害への取り組み(仮)」をテーマに開催予定となっております。皆様のお越しをお待ちしております。

編集/発行

東北大学病院 地域医療連携センター
TEL: 022-717-7131 FAX: 022-717-7132 Eメール: ijik002-thk@umin.ac.jp
ご意見・ご要望は、地域医療連携センターまでお問い合わせください。

wit h

東北大学病院
地域医療連携センター通信
[With/ウィズ]

vol.35

2015年11月13日発行



イベント情報

2015年度 第3回「知って得する勉強会」を開催しました

9月24日(木)17:30~、東北大学病院地域医療連携センター主催 第3回 知って得する勉強会(院内職員対象)が開催されました。

今回は、特別養護老人ホームせんだんの里・千脇隆志先生をお招きし、『介護保険と施設入所~自宅・病院以外の生活の場は?~』というテーマのもと、ご講演いただきました。

2025年問題を見据え行われた平成27年介護保険改正では、「地域包括ケアシステム」の実現に向け、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応への更なる強化、介護人材不足を解消するための戦略に焦点を置いた内容となっているとお話でした。また、2015年8月から介護保険の利用者自己負担(第一号保険者)が1割または2割となったこと、特別養護老人ホームの入居要件がより厳しくなったこと(基本的には要介護3以上)など、私

たちに身近な変更点についても分かりやすく教えていただきました。

介護保険の基本理念や介護に従事する人の職業倫理についても触れられ、介護職は人の弱さを支えたい一方、人の弱さにつけ込みやすくなる側面があるとのことでした。最近ニュースになっていた高齢者施設内での利用者虐待も、そういった側面が一因であると考えられます。外部の目が入りにくい空間では、言葉の乱れから始まり、ケアが雑になってしまうこともあるそうです。まず言葉の乱れから指導を徹底していること、職員自身のストレスに対処するための面接を行っていること等、虐待を未然に防ぐために自施設でも工夫をされているという千脇先生のお話が印象的であり、各々が自身のケアを振り返る機会にもなりました。

次回、第4回は、『在宅を支えるた

めに手をつなごう② 訪問看護師編』と題し、青葉訪問看護ステーション・及川真喜子先生を講師にお迎えします。訪問看護の現場の声が聞ける貴重な機会です。ご期待ください。



Event

新診療科長挨拶 / 遺伝科
青木 洋子（あおき ようこ）

2015年8月1日付で松原洋一教授の後任として遺伝科長を拝命致しました青木洋子（あおきようこ）です。どうぞよろしくお願いいたします。

東北大学病院遺伝科ではこれまで大学病院各科や地域の関連病院の先生方から患者さんをご紹介頂き遺伝子診療・遺伝カウンセリングを行ってまいりました。昨今は次世代シーケンサーを用いた全ゲノム解析が研究レベルで行われるようになり、個人のゲノム情報から病気のかかりやすさなどを明らかにしようとする研究も進んできています。また遺伝性乳がん・卵巣がん症候群を含めた家族性腫瘍への対応など、遺伝子（ゲノム）診療・遺伝カウンセリ

ングの需要は増大しています。そのような流れをうけ2015年3月に、全科横断的な遺伝子診療部が東北大学病院に開設されました。当科は遺伝子診療部の中心として、これまで以上に大学病院の各診療科や地域の関連病院の方々と連携しながら診療を行う所存です。遺伝カウンセリングのご紹介のみならず、遺伝性疾患の診療・遺伝子診断などについて各医療機関からの問い合わせに随時対応しておりますので、ご相談ください。東北大学病院は臨床遺伝専門医研修施設として臨床遺伝専門医の育成も行っております。若い後期研修医・医師の方の研修への参加もお待ちしております。

研究面としましては、次世代シーケンサーを用いた希少遺伝性難病の原因探索と病態解明の研究を行ってまいりました。当科の研究によって世界で初めて病因となる遺伝子を見つけた遺伝性疾患が数多くあります。このような研究成果と技術を診療に生かしていくことも目標としております。今後とも引き続きご指導・ご協力の程よろしくお願いたします。



People

中央診療施設紹介
歯科衛生室

歯科衛生士の業務は、「歯および口腔疾患の予防処置」、「歯科診療補助」、「歯科保健指導」の3つです。これらは時代のニーズとともに拡大してきたものの、長らく歯科保健・歯科医療の中で完結するものでした。しかし、近年そのフィールドは医療・介護の分野に幅広く及んでいます。すなわち、歯科衛生士は医科歯科連携によるチーム医療や介護分野におけるチームケアにおいて、口腔疾患のみならず全身疾患を有する患者さまの口腔機能の改善や口腔衛生の管理を担うことも重要な役割と認識し、時代のニーズに応えるべく模索や挑戦を続けています。

大学病院では2013年4月に「歯科インプラントセンター」が開設され、インプラント埋入手術の介助や、術前・術後のメンテナンスなどの業務が加

わりました。追って2015年4月には「周術期口腔支援センター」が開設され、悪性腫瘍の手術、放射線・化学療法、心血管外科手術、臓器移植などの周術期の入院患者さまに対して「専門的口腔衛生処置」を行うことで、術前・術後の感染予防や病状の早期改善に役立てるよう積極的に関わっています。また、2016年4月の「摂食嚥下治療センター（仮）」開設に向けた準備も進めています。他にも、病棟内往診での口腔ケアや訪問歯科診療に携わっており、今後も当室の歯科衛生士は地域包括ケアの実現に柔軟に対応して、歯科医師との緊密な連携はもとより、多くの医療・介護関係職種と連携したいと考えています。

一人でも多くの方が人生の最期まで楽しく話し、美味しく食べることができるよう「口腔」を維持できるように、私

たちの持つ専門性を活かしてサポートすることで、健やかで豊かな生活を支える職種でありたいと思っております。



歯科インプラントセンター



周術期口腔支援センター

Facility

医科診療科紹介
遺伝科

近年、遺伝子・ゲノムに関する研究が急速に進歩し、今まで遺伝病とは分からなかった病気が実は遺伝性があることがはっきりしたり、特定の病気の遺伝子診断が可能になったりして、遺伝子診療の範囲が急速に拡大しています。遺伝性疾患では患者さん自身だけでなく血縁者の方も同様の悩みを抱えることが多いので、その心理面に十分に配慮して対応することが必要です。遺伝科は、遺伝性疾患の診療に関連する諸問題を、遺伝病の最新情報や遺伝子検査の提供を含む遺伝カウンセリングで対応する診療科です。1997年に初めて外来を設置して以来、これまでも大学病院各科や県内外の病院から多くの患者さんをご紹介頂きました。2015年3月からは東北大学病院に全科横断的な遺伝子診療部が創設されました。これからは当科は遺伝子診療部の中心として各診療科の先生方と連携を行いより高度な遺伝子診療の提供を

行っていきます。遺伝に関するご相談や遺伝カウンセリングは複雑な内容が多いため、複数の医師（臨床遺伝専門医を含む）と認定遺伝カウンセラーが十分な時間をかけて問題点や不安に感じている点を伺います。初診時は、約1時間から1時間30分の診療時間が必要となります。そのため、完全予約制で毎週木曜日午後を初診の方の診療日としています。今年度から遺伝の知識を持ち患者・家族に対して情報提供や心理社会的支援を行う専門職である認定遺伝カウンセラーが診療に参加し、より充実した遺伝カウンセリングの提供が可能になりました。当科は高度な遺伝子解析技術を有しており、臨床各科と共同研究を行いさまざまな疾患の遺伝子解析研

究を行ってまいりました。また、当科では対応できない遺伝子検査に関しても、全国の遺伝子診療を行っている各施設との緊密に連携し、それらの施設の協力により多くの遺伝子検査の実施が可能で、今後も最先端の知識や技術を習得し、質の高い遺伝子診療をめざしていきます。



Department

中央診療施設紹介
技工室

技工室は、病院の診療技術部歯科技術部門として現在、8名の歯科技工士が在籍しており、主に院内の歯科技工物製作に携わっているほか、外注受付業務も担当しています。また、歯学部附属歯科技工士学校の臨床実習生や卒業研修生の受け入れなど技工士教育の一翼を担っています。

技工業務においては、従来型の歯科技工に加え、近年、コンピュータ技術を応用したCAD/CAM システムを導入し、インプラント埋入後の上部構造体やカスタムアパットメントをはじめ、2012度から保険適用されたCAD/CAMコンポジットクラウンの製作を手がけています。また、専門技術を活かしたオールセラミッククラウンや顎骨欠損に対する顎義歯（広範囲顎骨支持型補綴）及び顔面部分欠損の補綴（エピテーゼ）など、患者のQOL

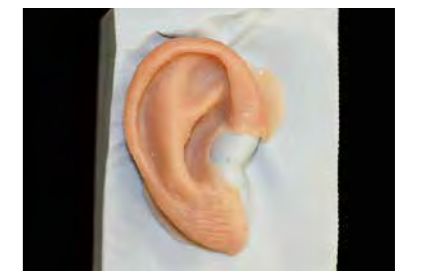
向上に直結した大学病院ならではの臨床にも貢献しています。他に、歯並びの調整を行うための矯正装置、顎関節症患者用の治療用マウスピース、顎骨骨折を元に戻すための副木（シーネ）や手指を自由に動かせない患者に対する自助具などをオーダーメイドで製作しています。

本年度からは、周術期口腔支援センターの開設に伴い、術前術後に使用する放射線治療用プロテクター、顎間

固定用スプリントや止血床などの歯科技工物を迅速に製作しています。さらに、3Dスキャナーや3Dプリンターの最先端技術を導入し、術前顎骨モデルやガイドの製作ができる環境を整えているところです。これからも大学病院技工室として、専門技術を活かし医科歯科連携に役立つ技工物の提供に取り組んでまいりたいと考えております。ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願申し上げます。



CT 画像から下顎骨モデルを製作



患部を 3D スキャニングし耳介エピテーゼを製作

Facility